

令和7年度 京都府公立高等学校入学者選抜Q & A

入学者選抜制度についてよくあるご質問と回答を掲載します。

前期選抜

Q1 前期選抜は、すべての高校（学科）で実施されますか。

全日制においては、すべての高校（学科）で実施します。
定時制については、府立北桑田高校美山分校、府立福知山高校三和分校の2校の昼間定時制で実施します。

Q2 前期選抜で、2つの高校（学科）に志願できますか。

できません。前期選抜は、1校1学科のみの志願となります。

Q3 出願後に志願先を変更できますか。

高校に願書を提出した後の変更はできません。これは、中期選抜・後期選抜・特別入学者選抜も同じです。

Q4 前期選抜で志願した高校（学科）に不合格だった場合、再度、同じ高校（学科）を中期選抜で志願できますか。

できます。ただし、前期選抜や特別入学者選抜で募集定員の100%を募集する専門学科等については、中期選抜での募集は行いません。なお、前期選抜で合格した場合は、同じ高校に限らず、他の高校でも中期選抜や後期選抜には志願できませんので、ご注意ください。

Q5 前期選抜で志願者が募集人員に満たなかった（欠員が生じた）場合、その欠員分は、中期選抜で募集するのですか。

前期選抜と中期選抜の両方を実施する高校（学科）については、前期選抜の欠員分も中期選抜で募集します。ただし、前期選抜で募集定員の100%を募集する専門学科等については、各高校独自の問題を用いるなどして、その学科等に対する入学後の学習への適正を判断しますので、欠員があっても中期選抜での募集は行いません。

Q6 活動実績報告書とは、どのようなものですか。

中学校在学中の部活動や特別活動、学校外の活動などの状況について、中学校長が作成するものです。記入する内容の詳細や様式については、選抜要項をご確認ください。

中期選抜

Q1 前期選抜を受検せずに、中期選抜のみを受検することはできますか。

できます。ただし、前期選抜及び特別入学者選抜で募集定員の100%を募集する学科等については、中期選抜での募集はありませんので、ご注意ください。

Q2 中期選抜で1校1学科のみの志願はできますか。

できます。第1志望第1順位のみでの志願、あるいは、第2志望を志願せずに、第1志望第1順位・第2順位のみでの志願もできます。

Q3 中期選抜の志願方法について、同じ高校の異なる学科を第1志望第1順位・第2順位、第2志望として志願できますか。

できます。例えば、第1志望第1順位を府立A高校の普通科、第2順位を同じ府立A高校の専門学科といった志願ができます。なお、第1志望第1順位・第2順位の両方で府立A高校の普通科を志願することはできません。

Q4 中期選抜の志願方法について、普通科・専門学科・総合学科をまたがって志願できますか。

できます。第1志望第1順位・第2順位、第2志望の3つについては、いずれの学科も志願できます。例えば、3つとも同じ学科を志願することもできますし、異なる学科を組み合わせた志願もできます。ただし、第2志望が生かされるのは、第1志望優先で合格者を決めた後、なおその学科に欠員がある場合のみですので、注意してください。

学科によって学ぶ内容が異なりますので、希望する学科のことをしっかりと理解した上で、志願してください。

Q5 中期選抜のステップ2で第1順位校と第2順位校の両方の合格範囲に入っていた場合は、どちらの高校（学科）に合格となるのですか。

第1順位としている高校（学科）に合格となります。

Q6 中期選抜で志願者がステップ1（募集人員の90%）に満たなかった（欠員が生じた）場合、その欠員分はどうなるのですか。

欠員分はステップ2（募集人員の10%）に加えて合否判定をします。例えば、中期選抜の募集人員が100名の場合、ステップ1では90名を合格決定しますが、仮に志願者数が90名を下回り、ステップ1の合格者が80名であれば、ステップ2では中期選抜の募集人員100名からステップ1の合格者の80名を引いた20名を合格決定します。

後期選抜

Q1 後期選抜は「相当の欠員が生じた学校（学科）において実施」とありますが、「相当の欠員」とはどの程度ですか。

欠員の人数や前期選抜・特別入学者選抜・中期選抜での志願の状況を考慮し、該当の高校と所管の教育委員会で協議の上で、学校（学科）ごとに実施するかどうかを決定します。

特別入学者選抜

Q1 特別入学者選抜にはどのようなものがありますか。

以下の選抜があります。詳しくは選抜要項をご確認ください。

種別	出願資格
海外勤務者帰国子女特別入学者選抜	日本国籍を有する海外勤務者の子女であり、外国に引き続き1年以上在留していたことなど
中国帰国孤児子女特別入学者選抜	終戦前（昭和20年9月2日以前）から引き続き中国に居住していた者で、終戦後初めて永住の目的をもって帰国したものの子女であることなど
社会人特別入学者選抜	満20歳以上であり、これまでに高等学校を卒業していないことなど
長期欠席者特別入学者選抜	中学校在籍中、いずれかの学年で年間30日以上欠席がある者など
京都府立清明高等学校特別入学者選抜	清明高等学校での学習等に取り組む意志が明確である者など
京都府立清新高等学校特別入学者選抜	清新高等学校での学習等に取り組む意志が明確である者など
京都市立京都奏和高等学校特別入学者選抜	不登校経験のある者や、行動や認知の特性により学びに困りがある者等、学び直しを必要とする者など
全国部活動特別入学者選抜	入学後、別に定める部活動へ加入することなど

Q2 複数の特別入学者選抜に出願できますか。

できません。出願は1高等学校の1学科・課程に限ります。

Q3 特別入学者選抜に出願した場合、前期選抜にも出願できますか。

できません。

Q4 特別入学者選抜で志願した高校（学科・課程）に不合格だった場合、再度、同じ高校（学科・課程）を中期選抜で志願できますか。

できます。ただし、前期選抜や特別入学者選抜で募集定員の100%を募集する専門学科等については、中期選抜での募集は行いません。なお、特別入学者選抜で合格した場合は、同じ高校に限らず、他の高校でも中期選抜や後期選抜には志願できませんので、ご注意ください。

選抜全般

Q1 受検会場はどこになりますか。

基本的に、志願した高校(中期選抜では第1志望第1順位とした高校)が受検会場となります。合格発表も受検した高校で行います。

Q2 前期選抜・特別入学者選抜・中期選抜・後期選抜のそれぞれに入学考査料が必要ですか。

1回の受検(願書提出)ごとに必要となります。全日制2,200円、定時制900円です。

Q3 学力検査の得点の開示は行われますか。

前期選抜・特別入学者選抜・中期選抜について、合格発表後、受検した高校及び合格通知書の交付を受ける高校において、学力検査の各教科別得点及び合計点を開示します。ただし、開示請求ができるのは、原則として受検者本人です。詳しくは選抜要項をご確認ください。

Q4 他府県に住んでいるのですが、京都府の公立高校を受検することはできますか。

全日制課程においては、次の場合で、事前に必要な手続(特別事情具申)を行っていただければ、前期選抜・特別入学者選抜・中期選抜・後期選抜のいずれも受検できます。詳しくは選抜要項をご確認ください。

- ①保護者の方が入学日までに京都府内に転居する場合
- ②隣接府県にお住まいで交通事情等によりその府県の高校に通学することが著しく困難な場合
- ③他府県の公立高校にない学科を志願する場合

なお、定時制課程、通信制課程を志望される方は、学校によって必要な書類や手続方法が異なりますので、志願される高校にお問合せください。

Q5 海外に住んでおり高校入学までに京都府内に帰国予定ですが、受検することはできますか。

事前に必要な手続(特別事情具申)を行っていただければ、前期選抜・特別入学者選抜・中期選抜・後期選抜のいずれも受検できます。詳しくは選抜要項をご確認ください。

なお、志願資格として、外国において学校教育における9年の課程を修了、もしくは在外教育施設の中学校課程を修了することが必要となります。

Q6 過年度の中学校卒業生は受検できますか。

できます。